



平成 23 年 1 月 31 日

各 位

会 社 名 ホリイフードサービス株式会社
代表者名 代表取締役社長 飯田 益弘
(コード番号 3077)
問合せ先 取締役経営管理本部長 根本 輝昌
電 話 (029) 233-5825

特別損失の発生及び平成 23 年 3 月期通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 23 年 3 月期第 3 四半期において計上いたしました特別損失の概要をお知らせすると共に、平成 22 年 5 月 14 日に公表しました平成 23 年 3 月期通期業績予想につきまして、下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 特別損失の発生及びその内容

平成23年3月期第3四半期会計期間において、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき最近の業績動向及び今後の見通しを踏まえ3店舗について合計52百万円の減損損失を計上いたしました。

2. 業績予想数値の修正

平成 23 年 3 月期通期 (平成 22 年 4 月 1 日 ~ 平成 23 年 3 月 31 日) 業績予想 (単位: 百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回予想 (A)	7,030	629	625	201	70 円 90 銭
今回修正予想 (B)	6,641	446	450	72	25 円 63 銭
増減額 (B - A)	△389	△182	△175	△128	—
増減率 (%)	△5.5	△29.0	△28.0	△63.9	—
(ご参考) 前期同期実績 (平成 22 年 3 月期)	6,640	606	617	327	115 円 65 銭

(1) 業績予想数値の修正理由

平成 23 年 3 月期の通期業績予想につきましては、雇用情勢及び所得環境の大幅な改善が期待できない状況のなか個人消費は低調に推移しており、当社の属する飲食業界におきましては消費者の低価格志向を反映した熾烈な価格競争が展開されており、今後もこのトレンドが継続するものと思われま。

そのような状況のなか、当社は「商品とサービスの質の向上」による競争力強化を主眼とする経営方針に基づき、極端な低価格業態には参入せずより割安感が持てるメニュー構成に改定するに留めてまいりました。しかしながら、消費動向全般が低価格化を強く指向する状況が顕著となるなか、当初計画しておりました販売実績の確保が困難となり、対応した経費削減も進めておりますが売上未達による利益減少額を吸収するには至らない状況にあります。

以上の状況に上記の減損損失の計上を加えた結果、予想を上回る損失となる見込みでありますので平成22年5月14日に発表いたしました平成23年3月期の通期業績予想を修正いたします。

※業績予想数値等について

上記に記載いたしました業績予想等に関する内容は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因にかかわる本資料発表日現在における仮定を前提としており、実際の業績は今後の様々な要因によって異なる可能性があります。

以 上